

ぎふ清流GAP評価制度



一般社団法人 岐阜県農畜産公社
ぎふ清流GAP推進センター

GAPとは何か？

Good **A**gricultural **P**ractice

良い/適正な 農業の 実践/やり方

農業生産工程管理



農業経営を永く続けるために、生産活動における
「Bad (悪い)」を「Good (良い)」へ改善

=「農業現場の改善活動」

持続可能な農業生産の実現につながる取組

国際水準GAPの5分野

● 食品安全

- ・資源(水、土壌等)の安全性確認
- ・資材(肥料・農薬等)の安全性の確認と適正な管理・使用
- ・設備・器具、作業者等の衛生管理（微生物汚染・異物混入）

● 環境保全

- ・肥料の適正な使用（過剰施肥や成分流出の防止）
- ・農薬の適正な場所での希釈や、残液の廃棄（農薬成分の流出防止）
- ・廃棄物の適正な保管・廃棄

● 労働安全

- ・手順の遵守や適正な防護服などの着用
- ・機械・器具の点検、安全装置の装着
- ・危険箇所の把握と周知の徹底

● 人権保護

- ・清潔な休憩場所の設置
- ・働きやすい職場環境づくり
- ・文化や言語への配慮

● 農場経営管理

- ・リスク評価による農場のリスクの特定と対策の検討
- ・記録の作成と保管
- ・対策を実施するための手順作成
- ・ルールや手順の周知、従業員教育

「食品安全」の着眼点

● 食品安全

- ・資源(水、土壌等)の安全性確認
- ・資材(肥料・農薬等)の安全性の確認と適正な管理・使用
- ・設備・器具、作業者等の衛生管理
(微生物汚染・異物混入)

食品安全のリスク

市場や量販店に出荷された野菜からの大腸菌の検出

食品の食中毒菌汚染実態調査結果

商品名	大腸菌陽性数	検体数
アルファルファ	5	9
カイワレ	3	3 4
みつば	1 0	2 1
レタス	3	4 2
水菜	5	3 2
きゅうり	4	5 3
トマト	0	5 5
キャベツ	1	2 6

出典：厚生労働省 平成30年度食品の食中毒菌汚染実態調査結果

食品安全のリスク

整理整頓／器具は場所を定めて保管



ルールのマニュアル化と情報共有

不用な物が置かれていない

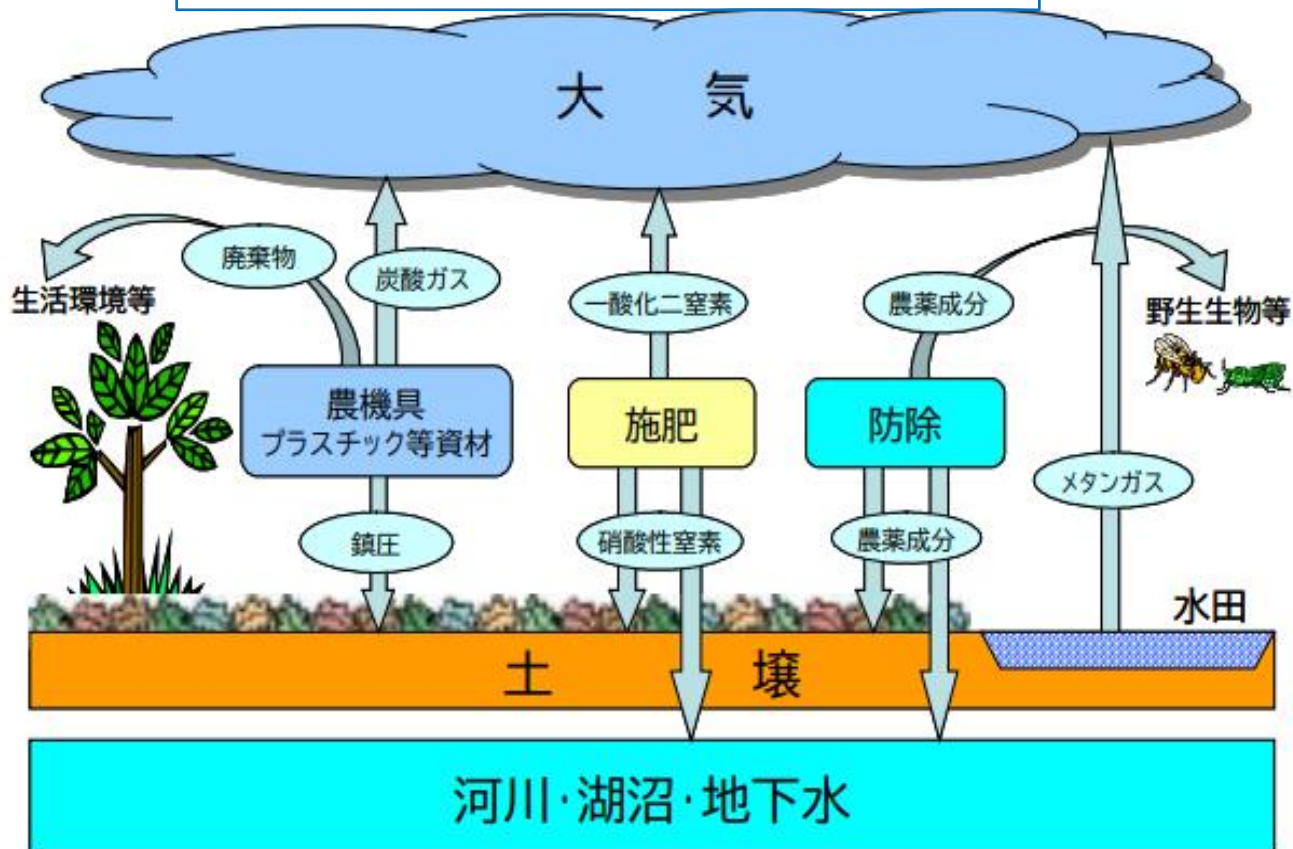


残渣やゴミ等が散らかっていない

環境保全のリスク

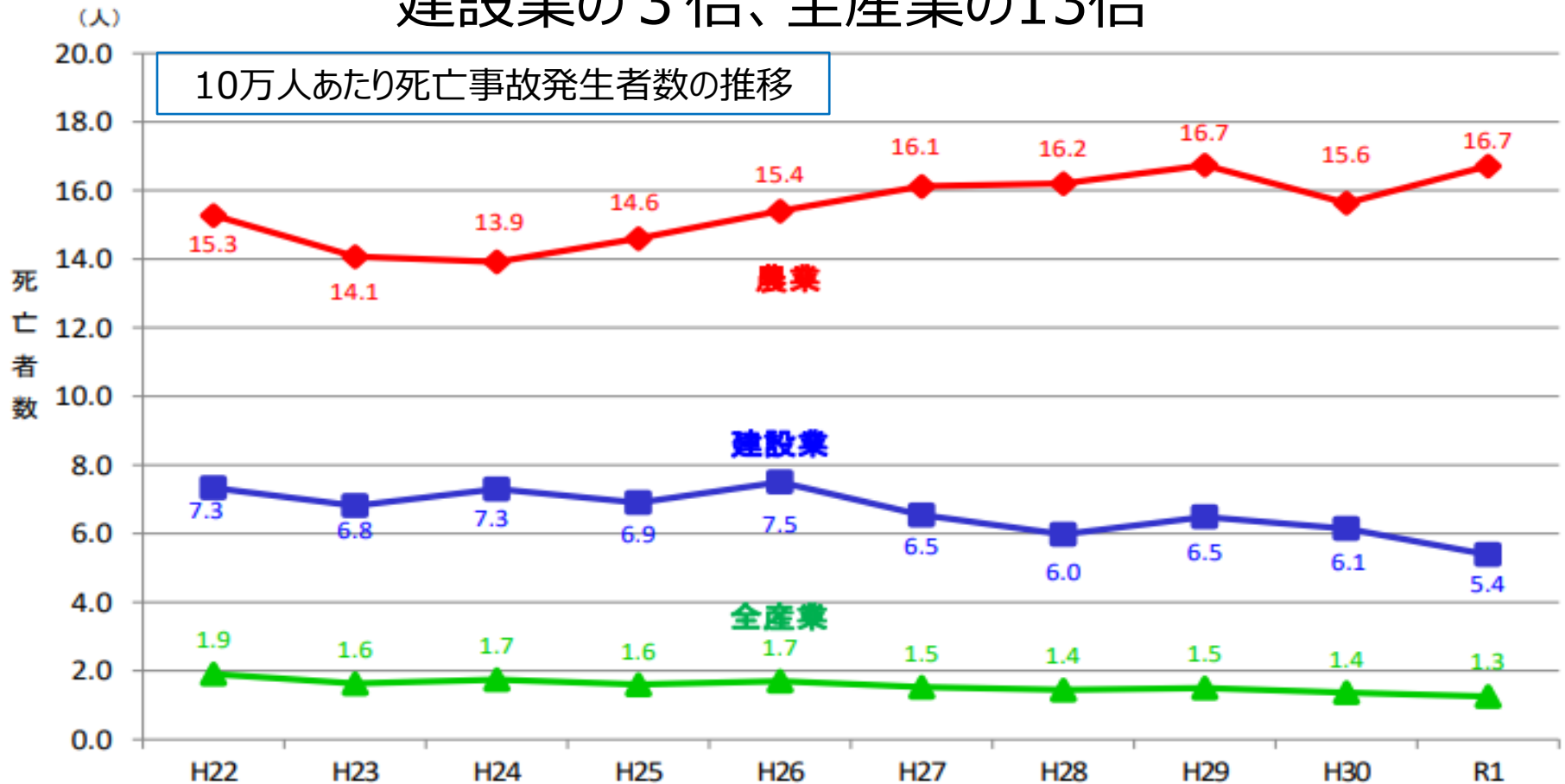
過剰施肥による地下水汚染
農薬成分の流出による河川汚染など

農業生産活動による環境負荷発生リスク



労働安全のリスク

10万人あたりの死亡事故件数は、
建設業の3倍、全産業の13倍



農業経営の土台

ブランド化、高付加価値、差別化

美味しさ、品質、収量など
有機栽培、減農薬栽培など

GAP

- ・ 食品安全
- ・ 環境保全
- ・ 労働安全
- ・ 人権保護
- ・ 農場経営管理

農業経営を持続するための土台

GAPの意味

言葉	意味	説明
GAPをする	行為	・農業者がGAP活動（または取組）を自ら実施すること
GAP認証をとる	証明	・GAPの取組を第三者が審査し証明すること（GAPの実施を客観的証明）

**GAP認証を取得することが、GAPをすることではない
必要な場合に
GAPに取り組んでいることを証明するために認証をとる**

国際水準「認証GAP」

制度名		JGAP	ASIAGAP	GLOBALG.A.P.
管理団体		日本GAP協会	日本GAP協会	FoodPLUSGmdh フードプラス、ドイツ
評価・ 審査方法	管理 項目数 (※)	審査：120 必須 71 重要 42 努力 7	審査：167 必須 138 重要 20 努力 9	審査：220 上位の義務 92 下位の義務 114 推奨 15
	認証水準	必須100%適合 重要95%以上適合	必須100%適合 重要85%以上適合	上位100%適合 下位95%以上適合
表示マーク		あり	あり	なし
登録手数料		10万円程度～	20万円程度～	40万円程度～

※対象品目により管理項目数が異なるため、一般的な品目を例示

ぎふ清流GAP評価制度

- 日本生産者GAP協会が開発したGAP教育システム「グリーンハーベスター農場評価制度（GH農場評価制度）」を活用
- 「食品安全」「環境保全」「労働安全」等の観点から、109項目にわたってGAPの取組レベルを評価
- 「ぎふ清流GAP推進センター」を設置し、専門評価員が農場を訪問し評価するとともに、各地域の農林事務所の農業普及指導員やJA営農指導員などが農家の取組を支援
- 対象作物は、米（玄米まで）、麦、大豆、野菜、果実、茶（荒茶まで）、きのこ類、その他食用作物、花き、種苗で、加工品は対象外

**農場のGAPの実践レベルを評価し、問題点(現況)を把握し、
今後の農場管理の改善・向上に役立てる**

制度の特徴

● 点数化で見える化

- ・各項目（最大109項目）を5段階で評価し、持ち点1000点からの減点方式で点数化・見える化

● 取組レベルの設定

- ・総合点数に応じて3段階の取組レベルを設定

● 評価証書の交付

- ・一定以上の取組レベルで、農場評価証書を交付

● ロゴマークの使用

- ・最上位の取組レベルは、商品にロゴマークの使用が可能

5段階評価による点数化

評価記号	評価名	評価点数	評価内容の定義
0	問題なし	0	適正に管理されており、改善の必要がない。
1	軽微な問題	- 5	リスクや管理ミスの可能性は極めて低いが、より良い状態に改善することを推奨する。
2	潜在的な問題	- 10	潜在的なリスク、または部分的な管理の欠陥がある。改善されなければ重大な問題に繋がる可能性がある。
3	重大な問題	- 15	重大なリスク、または管理の欠陥がある。
4	喫緊の問題	- 20	危害の発生、重大な法令違反、および差し迫った重大なリスクがある。
-	該当外	0	管理すべき項目でない。
+	加点	+ 5	環境便益などプラスの要素の実施が確認された。

取組レベルの設定

取組レベル

総合点数



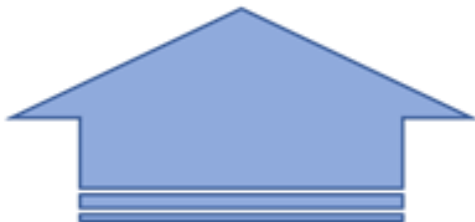
Advance
アドバンス

600点以上



Basic
ベーシック

600点未満
400点以上





Challenge
チャレンジ

400点未満

評価証書およびロゴマーク

評価証書

 「日本GAP規範に基づくぎふ清流GAP評価制度」

**ぎふ清流
GAP**

評価・判定の結果、貴農場は以下の評価レベルであることを証します。

★★★★★

総合得点 ***点

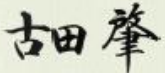

美濃飛騨農場

登録番号 **-* ** ** *

住 所	岐阜県〇〇市〇〇△南1-1-1番地
農場数	:** *戸 内サンプル農場数 〇戸
指定品目	〇〇〇〇

生産量が一番多い主要品目のため
栽培、収穫、調整・出荷(ただし、長期間の貯蔵はしない)
農産物取扱施設 ひだみの共済選果場
岐阜県〇〇市〇〇△南***番地

バージョン	Ver2.0.20170428
評価者	ぎふ清流GAP推進センター
評価作業実施日	202*年1月**日、**日
発行日	2021*年*月**日

岐阜県知事  

Governor of Gifu Hajime FURUTA

Gifu Seiryu GAP CERTIFICATE

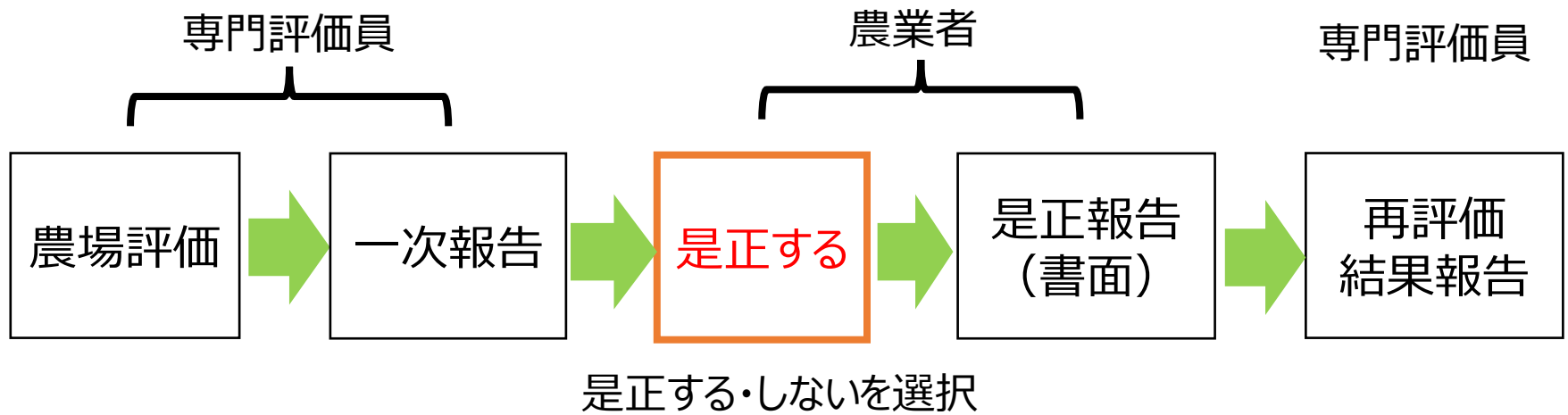


ぎふ清流GAP評価制度

制度名		ぎふ清流GAP	JGAP	ASIAGAP	GLOBALG.A.P.
管理団体		岐阜県 〔日本生産者 GAP協会〕	日本GAP協会	日本GAP協会	FoodPLUSGmdh フードプラス、ドイツ
評価・ 審査方法	管理 項目数 (※)	評価：109	審査：120 〔必須 71 重要 42 努力 7〕	審査：167 〔必須 138 重要 20 努力 9〕	審査：220 〔上位 92 下位 114 推奨 15〕
	評価方法 ・ 認証水準	適合レベルを 点数化	必須100% 重要95%以上	必須100% 重要85%以上	上位100% 下位95%以上
表示マーク		あり	あり	あり	なし
登録手数料		3,300円	10万円程度～	20万円程度～	40万円程度～

※対象品目により管理項目数が異なるため、一般的な品目を例示

指摘事項の是正



指摘事項の改善（燃料の保管）

現場の状況



評価コメント

▲軽油が法令に適合しないポリ容器に保管されている。

▲棚が固定されておらず、地震などで倒れ、保管容器が損傷する恐れがある。

▲燃料が漏出した場合の対策として受け皿などが無い。



**評価 4
(- 20点)**

指摘事項の改善（燃料の保管）

改善後の状況



漏出防止対策



転倒防止対策



法令に適した保管容器

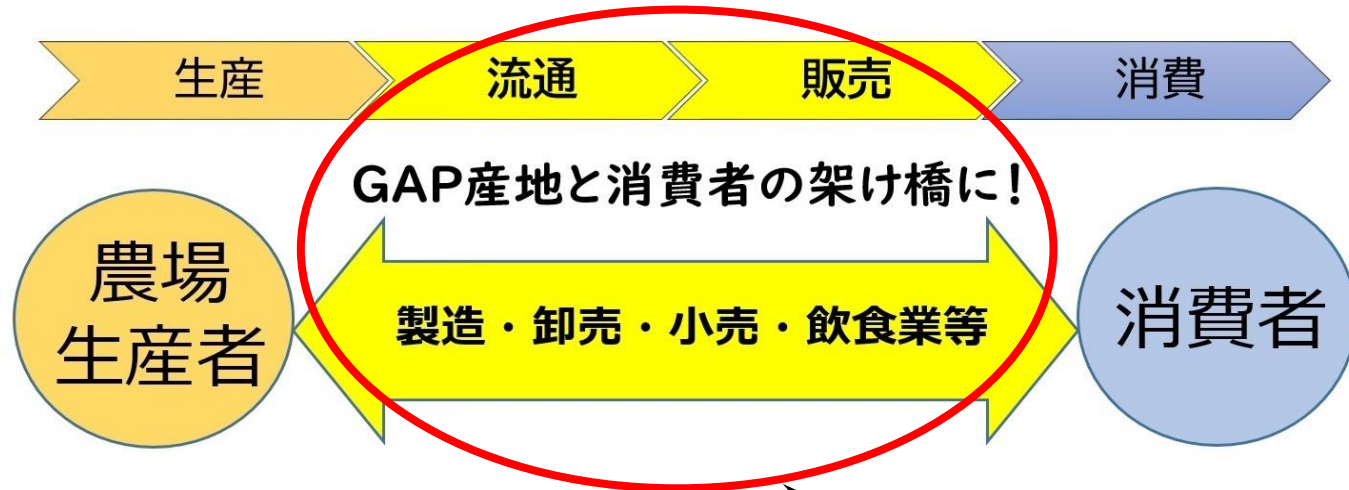
評価コメント

- ▲→○全ての燃料が**法令に適合した容器に保管**されている。
- ▲→○棚が**転倒防止対策により固定**されている。
- ▲→○保管容器が**漏出対策のための受け皿**に入っている。



評価 0
(減点なし)

消費者PR



ぎふ清流GAPパートナー

- ◇ J A
- ◇ 卸売業者・仲卸業者
- ◇ スーパーマーケット・量販店
- ◇ ホテル・旅館・飲食店
- ◇ 道の駅・直売所 など

直売所での産地紹介・販売PRコーナーの設置

